

保安基準適合検討書

基準条項	項目	検討結果	備考
道路運送車両の保安基準 第8条 第1項 原動機及び動力伝達装置	<p>原動機及び動力伝達装置は、運行に十分耐える構造及び性能を有すること。この場合において、次に掲げるものはこの基準に適合しないものとする。</p> <p>動力伝達装置関連の抜粋：</p> <p>（八） クラッチの作動状態が適正でないもの若しくは著しい滑りがあるもの又はリリースのダストブーツが損傷しているもの</p> <p>（九） 変速機の操作機構に著しいがたがあるもの</p> <p>（十） 動力伝達装置の連結部に緩みがあるもの</p> <p>（十一） 動力伝達装置に著しい液漏れがあるもの</p> <p>（十三） 駆動軸のスプライン部、自在接手部若しくはセンター・ベアリングに著しいがたがあるもの</p> <p>（十四） 推進軸又は駆動軸に損傷があるもの</p> <p>（十五） 自在接手部のボルト及びナットに脱落又は損傷があるもの</p> <p>（十六） 自在接手部のダスト・ブーツに損傷があるもの又はヨークの向きが正常でないもの</p> <p>（十八） 別添95「自動車の走行性能の技術基準」の基準を満足しないもの</p>	<p>（八）～（十六） 変更する部品は、流用元の車両（型式 V-KV3）の標準部品を使用しており、摩耗若しくは破損がある場合においては異常無き部品に交換したため問題無し。</p> <p>（十八） 以下の計算結果により、適合すると判断する。 小型自動車 $GVW \leq 122 \times kW \{90 \times PS\} - 600$ GVW: 自動車の車両総重量 kg kW{PS}: 自動車の原動機の最高出力 55 kW{PS} $\leq 122 \times kW \{90 \times PS\} - 600$ $= 122 \times 55 - 600 = 6110$</p>	

注：改造自動車について、改造部分及び改造により影響を及ぼす部分が保安基準の規定に適合しているかどうかを検討した結果を記載すること。なお、本様式は適宜変更することができる。